

かがわ成長する企業大賞 候補企業を募集

県は、特徴的な製品やサービスの開発などの優れた取り組みで、成長を続けている中小企業を表彰する「かがわ成長する企業大賞」制度を設けています。2021年度も、候補企業を11月末まで募集します。詳細は県ホームページでご確認ください。

【2020年度 受賞企業の紹介】

ものづくり部門

株式会社FUJIDAN(東かがわ市)
段ボール製品製造業



商業・サービス部門

さめき麺業株式会社(高松市)
うどん飲食店



奨励部門

株式会社妙興(高松市)
高松盆栽の小売・販売・生産
※奨励部門は、従業員数が20人程度以下の中小企業が対象です。



詳しくは

かがわ成長する企業大賞 検索

(問い合わせ先) 産業政策課 ☎ 087-832-3351



代表取締役の川上正城さん



これからの主力製品になると期待しているのが、2017年に発表した「アドバンス」です。溝が従来のクロージャーシリーズより深く、さらに軽くて強いのが特長で、強度はZ500の約1.5倍、業界最高レベルを誇ります。「完成した後に気付いたのですから、どちらも同じ素材を使っているのに、アドバンスの方が1平方メートルあたりの荷重がわずかに小さく、1枚当たりの施工性も高かった。普通は強くしようとすると重くなると考え

新工場で生産性向上
ものづくりの発信の場

屋根の施工方法を見直す必要を痛感したことから、開発がスタートしたんです」と川上さんは振り返ります。5年掛かりで完成した「Z500クロージャー」は、下からの風圧に強く、屋根本体には穴を開けずに取り付けられる新工法で防水性も担保した、中々大型建築向けの屋根材です。翌年の東日本大震災で防災意識が高まる中、災害に強い建材として一躍ヒット商品となりました。その後も「NEW Z500クロージャー」シリーズ「クロージャーZ」と改良を続け、一般住宅にも対応できるなどラインナップが充実。県内はもちろん、全国各地で採用されています。

川上さんは「新工場の完成により、職場環境も改善され、社員が生き生きと働けることで生産性も向上しました。今後は新たなものづくりやサービスに注力したいですね」と、力を込めて語ってくれました。

問い合わせ先
(公財)かがわ産業支援財団 取引支援課
☎087-868-9904

創業当時は近隣の一般住宅や小規模建築の外装を中心に手掛けていましたが、昭和30年代から施工対象が少しずつ大きい建物になり、少林寺(多度津町)の五重塔や納骨堂など寺社仏閣の施工ノウハウも深めています。こうした実績を評価され、当社は香

川から唯一、1968年皇居新宮殿の銅板屋根ふき工事に抜かされました。祖父は引退後も宮内庁御用達の誇りを持っていましたね」と、3代目に当たる代表取締役の川上正城さん。さまざまな建材を扱いますが、屋根材は9割以上が自社製品。現在の主力は、2010年の誕生から改良を続けている「クロージャーシリーズ」です。災害に強い機能を追求しつつデザイン性も重視し、グッドデザイン賞にたびたび選ばれています。「きっかけは、2004年に県の依頼を受けて県立大川体育館の台風被害を視察したことでした。強風で屋根が壊れて、現場はひどいありさま。

災害から建物を守る
強く美しい屋根材

寺社仏閣や皇居までも
豊富な屋根のノウハウ

県道200号沿いにある川上板金工業所満濃工場の壁面に大きく描かれた「YANEYA」の文字は、屋根メーカーの誇り。自然災害に強い高性能な屋根の研究開発から設計、施工、管理まで一貫で行える体制が同社の強みです。

川から唯一、1968年皇居新宮殿の銅板屋根ふき工事に抜かされました。祖父は引退後も宮内庁御用達の誇りを持っていましたね」と、3代目に当たる代表取締役の川上正城さん。さまざまな建材を扱いますが、屋根材は9割以上が自社製品。現在の主力は、2010年の誕生から改良を続けている「クロージャーシリーズ」です。災害に強い機能を追求しつつデザイン性も重視し、グッドデザイン賞にたびたび選ばれています。



挑戦する
かがわ 37
ものづくり企業
台風被害を目の当たりにしたことから生まれた災害に強い屋根材。その機能性を大手・地場ゼネコンに高く評価され、全国に展開する香川のものづくり企業を紹介します。

株式会社川上板金工業所
(住所)まんのう町四条858-1
(創業)1934年
☎0877-75-5156
http://www.kawakamibankin.co.jp/

